

議 事 録

件 名	第 2 9 回学校安全対策委員会	
日 時	令和 5 年 4 月 2 4 日（月） 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 3 5	
場 所	市庁舎 1 7 階会議室	
出席者	委 員	小屋松委員長、広津副委員長、松田委員、綾部委員、西川委員、柳委員、原委員、新谷委員
	事務局	豊福主幹、岡課長補佐、古賀さん
欠 席 者	江島委員、吉富委員、古賀委員、今村委員、小野委員、工藤委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 令和 5 年度の主なスケジュールについて 3. 協議事項 (1) 2022(令和 4)年度実績及び 2023(令和 5)年度方針(案)について (2) 3 回目の認証取得に向けた本審査について ①現地審査スケジュール・活動視察 ②申請書 ③プレゼン資料 4. その他 (1) 合同対策委員会の報告 5. 閉会	
質 疑	① 4 ページの今後の方向性取り組み上の課題の「地域と共同した」は「協働」という言い回しに直したほうがいい。 「外部人材と共同した」は、「連携」の方がいい。 事務局 4 ページの方は、協力の協と働く。5 ページの方は共同を連携という言葉に、変えさせていただきたいと思う。 委員長 図表の 79 は、日本スポーツ振興センターは全国のことか。 次の図表 80、83、85 は久留米市のデータか。 事務局 はい。 小屋松委員長 久留米市と書いてくれた方がわかる。 ① けがの発生率について、久留米の方が全国よりも高いという状況だが、スポーツ振興センターに申請した件数なので、先生たちはこれをどう評価されてるのかなと思う。 単純に多いということじゃなくて、手厚く申請してくれるとかっていうこともあるのかなと思う。 委員長 実際のけががもっと多い。 実際は病院に行くのは結構傷が深かったりとか、顔だったり、傷が残ったらいけないとかいった場合は、病院とかに行く。だから、実際のけが起きた件数は、それぞれの学校で調査している部分を見ない限りはわからない。	
委 員		
事 務 局		
委 員 長		
事 務 局		
小 屋 松 委 員 長		
委 員 ①		
委 員 長		

議 事 録

委 員 ②	いじめの様態について、冷やかしかからかいが多い。マスク外していい入学式だけど、子供たちは様子を見ながら、マスクを外してたら、それが人と比べて何か言われる。だから、大人から見ると、こんなこととか思うけど子供にとってはどうかってところだから、すごく気になった。これが、いじめのもとじゃないか。 だから、こういうところを、学校といろんな団体は、いろんなところで話ながら、子供たちにわかってもらう。最初の要因を、大事に扱うことが大切だと思う。
事 務 局	学校内では、先生たちも言っていますが、やはり周りからも言っていた方が効果的だと思うし、児童はいろんな人の声を聞いて成長していくのではないかなと思う。
委 員 ①	昨年の事前審査の時に、おそらくワン先生からだったと思うが、学校安全対策委員会が対象としているものがわからないと言われたので、久留米市は小学校を対象にしているということと、それから学校安全対策委員会で全ての小学校を一括して相手にしてみたいなイメージをお持ちでしたので、実際は、濃淡はあるにしても、各学校で、それぞれ地域の状況に合わせて連携を図っているということを少し厚めに説明できるようにしていきたいなと思っているので、私どもも含めて、一緒に考えていきたい。